

館いきいきクラブ

# 会報 30号

2022年 令和四年 2月号

健康一番  
笑いも一番

発行 2019年8月

正式名称

「沖野館町内いきいきクラブ」

会長・宮原 徹司 090-2980-9508

発行・教養広報委員会

2月の暦 月名：如月（きさらぎ）

3日：節分 4日：立春 11日：建国記念日 23日：天皇誕生日

憎きコロナが、またまた感染をぶり返し、オミクロン株と、平行に拡大してきました。なんか日本人は、流行にのりやすく、6波が1月に発生します。のテレビの掛け声と共にどの県もコロナが一成に増えました。私達老人は、流行に疎い（うとい）ので、皆さん流行にのならず、元気に過ごしましょう。憎きコロナに心緩めることなく、ウガイ、手洗い、人混みを避ける等、コロナの感染予防に十二分に努めましょう。😊

## 1月18日沖老連の新年会開催

朝10時に茂庭荘のバスに24名乗車。乗る前に全員の体温測定をしました。出来る限りの検温や、消毒をしての新年会を行いました。ただしこのご時世なので、皆さんが希望していましたカラオケは中止し、輪投げに変更しました。

ビンゴゲームと輪投げで楽しく、茂庭荘の広い部屋で、24名が3時間過ごしました。

ビンゴゲーム：1位・別府氏 2位・宮原氏 3位・丹野（康）氏 当日賞・丹野（てつ）氏

輪投げ：1位・丹野（康）氏 2位・中谷氏 3位・小澤氏 当日賞・高橋（英）氏

ビンゴゲームの場合は、運ですが、輪投げの場合は、実力です。丹野（康）氏どちらの賞も頂き、本当におめでとうございます。

## 雑学 日本における2月

日本では旧暦2月を如月（きさらぎ、絹更月、衣更月と綴ることもある）と呼び、現在では新暦2月の別名としても用いる。「如月」は中国での二月の異称をそのまま使ったもので、日本の「きさらぎ」という名称とは関係がない。

「きさらぎ」という名前の由来には諸説ある。

- 旧暦二月でもまだ寒さが残っているので、衣（きぬ）を更に着る月であるから「衣更着（きさらぎ）」
- 草木の芽が張り出す月であるから「草木張月（くさきはりづき）」
- 前年の旧暦八月に雁が来て、更に燕が来る頃であるから「来更来（きさらぎ）」
- 陽気が更に来る月であるから「気更来（きさらぎ）」

他に梅見月（うめみつき）、木の芽月（このめつき）等の別名もある。

旧暦二月は新暦では3月ごろに当たり、梅の花が咲く時期である。

## 編集後記

この新コロナいつまで続く？今回の波で、完全に消えて欲しいと、私は願います。

「福は内 鬼は外とも コロナ消え」